

令和7年度 施策評価シート

基本目標	V 区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政 策	520 生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる
施策の目標	スポーツを「する・みる・ささえる」のうち、自分の興味・関心に合った観点でスポーツに関わり、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや、地域での交流が行われています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合（％）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目 標	41	42	43	44	45
実績	38.6	—	40.9	—	64.3
	R3	R4	R5	R6	R7
目 標	66	67	68	69	70
実績	—	63	—	66.7	

指標名	「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合（％）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目 標	55	55	55	55	55
実績	49.9	—	43.9	—	48.6
	R3	R4	R5	R6	R7
目 標	58	58	58	58	58
実績	—	51.7	—	52.6	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
指標の数値は、住民意識調査で把握をしている。 「週に1回以上、運動・スポーツをしている」成人区民の割合については年々上昇傾向にある。「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合は減少傾向にあったが、令和2年度に上昇に転じており、令和6年度調査でも上昇傾向にある。引き続き今後の動向を注視する。	R4	1,726,620
	R5	1,617,678
	R6	1,486,153

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	だれもが安心してスポーツを楽しめる機会の確保と環境づくりを進めるため、スポーツをする環境・状況をハード・ソフトの両面から工夫する必要がある。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
○	(1) 優先的に資源投入を図る
○	(2) 現状維持とする
●	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
本区の高齢化率は今後も進んでいくことが予測されており、生涯スポーツの促進や競技スポーツの振興は、区民の健康増進及び体力向上の観点からも、欠かすことのできない重要な施策である。また、スポーツを通じた地域の交流のきっかけとしても展開する必要がある。	
今後の具体的な方針	
運動やスポーツに親しむことは、地域との交流や親子がふれあう機会の創出、生活習慣病の予防等の観点からも有意義であることから、こうした世代に対するきめ細やかなアプローチを進めていく。区民が健康で豊かな生活を送ることができるよう、誰もが運動やスポーツを楽しめる環境を整備していく。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	墨田区総合体育館PFI事業費	スポーツ振興課	693,076	10,985	704,061	現状維持
2	スポーツ健康センター管理運営費	スポーツ振興課	142,258	6,408	148,666	現状維持
3	両国屋内プール管理運営費	スポーツ振興課	125,004	5,492	130,496	現状維持
4	総合運動場管理運営費	スポーツ振興課	76,238	6,408	82,646	現状維持
5	スポーツプラザ梅若管理運営費	スポーツ振興課	48,607	5,492	54,099	現状維持
6	区民スポーツ教室経費	スポーツ振興課	13,789	4,577	18,366	現状維持
7	区民体育祭運営費	スポーツ振興課	8,570	6,408	14,978	現状維持
8	区民体育大会兼都民体育大会運営費	スポーツ振興課	6,236	6,408	12,644	現状維持
9	野球場の借上経費	スポーツ振興課	10,119	45	10,164	現状維持
10	スポーツ施設開放経費	スポーツ振興課	4,494	4,577	9,071	現状維持
11	墨東五区各種大会運営費	スポーツ振興課	940	5,492	6,432	現状維持
12	姉妹区親善スポーツ大会運営費	スポーツ振興課	86	2,746	2,832	現状維持
13	区営運動場維持管理費	スポーツ振興課	243,841	20,184	264,025	改善・見直しのうえ継続
14	オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業費	スポーツ振興課	6,377	10,985	17,362	改善・見直しのうえ継続
15	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費	スポーツ振興課	1,565	4,577	6,142	改善・見直しのうえ継続
16	ホームタウン・スポーツチームの育成経費	スポーツ振興課	507	3,662	4,169	改善・見直しのうえ継続

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	墨田区総合体育館PFI事業費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5486
目 的	区民にスポーツをする・みる・支える機会を提供する					
対 象 者	墨田区総合体育館利用者					
根拠法令 関連計画	（仮称）墨田区総合体育館建設等事業基本協定書・（仮称）墨田区総合体育館建設等事業契約書・墨田区総合体育館の管理運営に関する条例・墨田区総合体育館の管理運営に関する条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	2人（委託先）（株）すみだスポーツサポートPFI	
事業内容	- 施設概要 屋内プール、トレーニング室、スタジオ、アリーナ、武道場、多目的広場（フットサル等）、多目的競技場（アーチェリー等） - 施設の管理運営・維持管理 区民にスポーツをする・みる・支える機会を提供する場として、快適で安全な施設運営を行う。					
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定	令和12年度
	事業契約期間：平成22年4月1日～令和12年3月31日（20年間） 多様化・増大化するスポーツ需要に応えられる施設として開館。 区民が「スポーツをする」だけでなく、「スポーツをみる」、「スポーツを支える」ことができる施設。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	令和6年度からネーミングライツを導入している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		906,299	740,189	754,275	707,008	732,861	680,361
A. 決算額（令和7年度は見込み）		839,911	697,054	749,273	702,005	693,076	680,361
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		839,911	697,054	749,273	702,005	693,076	680,361
執行率（％）		92.67％	94.17％	99.34％	99.29％	94.57％	100％
B. 人コスト		10,586	10,555	9,815	10,214	10,985	
総事業費（A+B）		850,497	707,609	759,088	712,219	704,061	
予算書P（令和7年度）		p125 1		執行実績報告書P（令和6年度）		63	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	702,005	委託料	693,076	委託料	680,361
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		740,899	令和８年度	目標	536,650	536,650	536,650	536,650
				実績	689,496	689,669	673,510	641,501
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	536,650	536,650	536,650	536,650	536,650	536,650
		実績	283,116	330,185	462,167	484,448	504,279	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		目標値は、協定書における利用者目標値。令和２年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく減少している。収束後も利用者層の変化等でコロナ禍以前と比較して回復していない。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用料金収入				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		461,263	令和８年度	目標	461,263	461,263	461,263	461,263
				実績	490,069	515,053	510,567	454,662
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	461,263	461,263	461,263	461,263	461,263	461,263
		実績	251,933	301,736	384,667	391,273	379,100	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		20年間の収入計画に対する実績を確認することができる。令和元年度以降については、新型コロナウイルス感染症や利用者層の変化により収入計画を下回る実績となった。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民の健康維持・体力向上とスポーツを楽しむための施設として、維持管理運営を継続していく必要がある。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、ＰＦＩ事業者と事業を進めていく必要がある。また、設置２０年目に向けて、今後、ＰＦＩ事業の評価について検討していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	スポーツ健康センター管理運営費					
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5498			
目 的	区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る施設として管理運営を行う。					
対 象 者	すみだスポーツ健康センター利用者					
根拠法令 関連計画	すみだスポーツ健康センター条例 すみだスポーツ健康センター条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	2人・住友不動産エスフォルタ等共同企業体	
事業内容	- 施設概要 プール（25m×4コース）、流れるプール、子どもプール、幼児プール、ジャグジー、ウォータースライダー - 施設の管理運営・維持管理 区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る場として、施設の管理運営等を行う。					
経 過	開始年度	平成12年度			終了予定	
	平成12年7月に区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と効果的・効率的運営を図る。 第1期：平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間） 第2期：平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間） 第3期：平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） 第4期：平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間） 第5期（現在）：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		199,192	244,754	440,612	150,290	142,259	147,059
A. 決算額（令和7年度は見込み）		158,902	126,654	426,332	150,255	142,258	147,059
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	1,872	3,610	2,320	1,800	0	0
一般財源		157,030	123,044	424,012	148,455	142,258	147,059
執行率（％）		79.77％	51.75％	96.76％	99.98％	100％	100％
B. 人コスト		6,175	6,157	5,725	5,958	6,408	
総事業費（A+B）		165,077	132,811	432,057	156,213	148,666	
予算書P（令和7年度）		126	執行実績報告書P（令和6年度）			65	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	138,585	委託料	129,937	委託料	127,077
工事請負費	10,917	工事請負費	12,133	工事請負費	19,982
使用料及び賃借料	753	使用料及び賃借料	189		
概 要		概 要		概 要	
指定管理料、等		指定管理料、等		指定管理料、等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		147,000	令和１０年度	目標	—	—	—	146,244
				実績	—	—	—	140,720
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	145,581	98,937	98,937	98,937	147,000 ※基準年	147,000
		実績	34,818	67,375	58,248	108,262	112,672	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		レクリエーション普及振興及び健康増進施設としての役割を達成しているかの確認となるため。コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。※指定管理者の終期である令和10年度が目標年度						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者アンケート（施設利用満足度）				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		95	令和１０年度	目標	—	—	—	90
				実績	—	—	—	60.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	95 ※基準年	95
		実績	63.9	63.9	86.8	82.1	88.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者アンケートによる施設利用満足度を確認するため。※指定管理者の終期である令和10年度が目標年度						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	プール需要は高く、レクリエーション普及振興及び健康増進の場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	両国屋内プール管理運営費					
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5498			
目 的	区民の健康・体力づくりを行う施設として管理運営を行う。					
対 象 者	両国屋内プール利用者					
根拠法令 関連計画	両国屋内プール条例 両国屋内プール条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	2人・すみだスポーツ振興まちづくりパートナーズ	
事業内容	- 施設概要 プール（25m×7コース） - 施設の管理運営・維持管理 区民の健康・体力づくりの場として、施設の管理運営等を行う。					
経 過	開始年度	平成11年度			終了予定	
	平成11年8月に区民の健康・体力づくりを行う施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期：平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間） 第2期：平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間） 第3期：平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） 第4期：平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間） 第5期（現在）：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		247,604	114,982	121,059	178,163	127,575	137,731
A. 決算額（令和7年度は見込み）		219,917	108,939	119,135	171,898	125,004	137,731
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	20,228	3,848	4,553	2,055	63	90
一般財源		199,689	105,091	114,582	169,843	124,941	137,641
執行率（％）		88.82％	94.74％	98.41％	96.48％	97.98％	100％
B. 人コスト		5,293	5,278	4,907	5,107	5,492	
総事業費（A+B）		225,210	114,217	124,042	177,005	130,496	
予算書P（令和7年度）		125		執行実績報告書P（令和6年度）		64	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	73,091	委託料	80,371	委託料	75,969
工事請負費	59,042	需用費	40,421	需用費	42,000
需用費	39,141	工事請負費	4,180	工事請負費	19,762
補償補填及び賠償金	625	役務費	33		
概 要		概 要		概 要	
指定管理料、等		指定管理料、等		指定管理料、等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		74,000	令和１０年度	目標	—	—	—	74,000
				実績	—	—	—	70,144
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	74,000	74,000	74,000	74,000	74,000 ※基準年	74,000
		実績	34,953	54,404	64,263	67,698	66,414	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。※指定管理者の終期である令和10年度が目標年度						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者アンケート（施設利用満足度）				単位	点 満点 5
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和１０年度	目標	—	—	—	5
				実績	—	—	—	3.98
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5 ※基準年	5
		実績	3.94	3.94	3.94	4.02	4.05	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者アンケートによる施設利用満足度を確認するため。 ※指定管理者の終期である令和10年度が目標年度						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	プール需要は高く、健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	総合運動場管理運営費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5486
目 的	区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資することを目的とし、施設の管理運営を行う。					
対 象 者	墨田区総合運動場利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区総合運動場条例 墨田区総合運動場条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)すみだFTパートナーズ	
事業内容	- 施設概要 トラック&フィールド、トレーニング室、会議室、多目的室、調理室、宿泊室 - 施設の管理運営・維持管理 区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資することを目的とした施設の管理運営を行う。					
経 過	開始年度	平成31年度			終了予定	
	令和元年12月に開場した（指定管理者制度導入済）。 第1期：令和元年12月1日～令和6年3月31日（5年間） 第2期（現在）：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	令和元年度からネーミングライツを導入している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		78,987	69,078	67,027	69,105	77,951	75,683
A. 決算額（令和7年度は見込み）		57,884	69,624	66,595	68,873	76,238	75,683
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		57,884	69,624	66,595	68,873	76,238	75,683
執行率（％）		73.28％	100.79％	99.36％	99.66％	97.8％	100％
B. 人コスト		6,175	6,157	5,725	5,958	6,408	
総事業費（A+B）		64,059	75,781	72,320	74,831	82,646	
予算書P（令和7年度）		p126 1		執行実績報告書P（令和6年度）		65	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	68,011	委託料	73,218	委託料	74,387
工事請負費	861	備品購入費	3,012	工事請負費	1,000
		補償補填及び賠償金	8	需用費	185
				備品購入費	111
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		131,000	令和１０年度	目標	—	—	—	21,867
				実績	—	—	—	25,914
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	95,026	130,404	130,404	130,404	130,404 (基準年)	130,404
		実績	68,490	111,694	139,433	154,324	171,998	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、地域力の向上に資する施設としての役割を達成しているかの確認となるため。目標年度は、現指定管理期間終期の令和10年度とする。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者アンケート（施設利用満足度）				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		90.0%	令和１０年度	目標	—	—	—	90.0%
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0% (基準年)	90.0%
		実績	78.2%	79.0%	74.3%	81.0%	78.0%	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者アンケートによる施設利用満足度を確認するため。現指定管理期間の終期が令和10年度のため、目標年度は令和10年度で設定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	稼働率や利用者ニーズを考慮したうえで、施設の活用方法を検討していく。

課題・問題点
開場以来、利用人数は増加傾向にあるが、更なる利用人数増に向け、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	スポーツプラザ梅若管理運営費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5498
目 的	区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりを行う拠点施設として管理運営を行う。					
対 象 者	スポーツプラザ梅若利用者					
根拠法令 関連計画	スポーツプラザ梅若条例 スポーツプラザ梅若条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	2人・すみだスポーツ振興まちづくりパートナーズ	
事業内容	- 施設概要 体育館、会議室、トレーニング室、体力測定室 - 施設の管理運営・維持管理 区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりの場として、施設の管理運営等を行う。					
経 過	開始年度	平成12年度			終了予定	
	平成12年4月に区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりを行う拠点施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期：平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間） 第2期：平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間） 第3期：平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） 第4期：平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間） 第5期（現在）：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		90,958	51,526	53,335	178,980	50,134	48,885
A. 決算額（令和7年度は見込み）		74,819	50,166	51,688	167,655	48,607	48,885
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	2,594	2,854	3,396	2,199	1,171	100
一般財源		72,225	47,312	48,292	165,456	47,436	48,785
執行率（％）		82.26％	97.36％	96.91％	93.67％	96.95％	100％
B. 人コスト		5,293	5,278	4,907	5,107	5,492	
総事業費（A+B）		80,112	55,444	56,595	172,762	54,099	
予算書P（令和7年度）		125		執行実績報告書P（令和6年度）		63	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	115,619	委託料	45,477	委託料	44,785
委託料	47,176	需用費	3,122	需用費	3,200
需用費	2,921	補償補填及び賠償金	10	工事請負費	900
備品購入費	1,641				
役務費	300				
概 要		概 要		概 要	
指定管理料、長期修繕計画工事費、等		指定管理料、等		指定管理料、等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
				目標	—	—	—	85,000
				実績	—	—	—	77,484
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	86,000	86,000	86,000	86,000	86,000 ※基準年	86,000
		実績	46,719	55,004	65,913	64,569	73,381	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		スポーツ活動及び健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。※指定管理者の終期である令和10年度が目標年度						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者アンケート（施設利用満足度）				単位	点 満点 5
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和10年度	目標	—	—	—	5
				実績	—	—	—	4.19
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5 ※基準年	5
		実績	4.25	4.21	4.21	4.32	4.35	
		指標の選定理由及び目標値の理由						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	体育館の需要が高く、スポーツ及び健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	区民スポーツ教室経費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5487
目 的	すべての区民が参加できるスポーツ活動の場を設け、区民の健康増進及び体力向上を図る。					
対 象 者	区内在住・在勤・在学の成人					
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条					
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	事業内容上部に記載	
事業内容	（人員体制）常勤2人（委託先）特定非営利活動法人スポーツドアあずま、特定非営利活動法人両国倶楽部 以下の各種スポーツ教室について、委託を行う。 （1）ちょっと楽しいスポーツ教室 ・バドミントン・ミニテニス・ビーチボールバレー・ラージボール卓球等のニュースポーツ体験教室 ・毎回の教室では、スポーツ推進委員が指導者として教室を行う。 （2）高齢者健康体操教室 ウォーキング、ストレッチング、ボールを使ったエクササイズ、リズムダンスなど高齢者 （区内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない者）の健康増進を目的とした体操教室 （3）ボート教室 ファミリー向けの初心者ボート教室					
経 過	開始年度	昭和51年度			終了予定	
	（1）ちょっと楽しいスポーツ教室 ・昭和51年度から北部と南部の小学校等で実施している。 ・平成23年度からは第四吾嬬小学校及び外手小学校で実施している。 （2）高齢者健康体操教室 ・昭和52年度から社会体育課体育係（現スポーツ振興課スポーツ振興担当）から 体育館へ事業を移管した。 ・平成22年度、総合体育館の新築に伴い、体育館からスポーツ振興課スポーツ振興担当に 事業を移管した。 （3）ボート教室 平成27年度から平井橋水防倉庫で漕艇庫を供用したため、ボート教室を実施している。					
議会質問 の 状 況	①スポーツ教室などでも、参加者は女性が大変多く、男性の高齢者は少ない。介護予防の観点から、男性にももっと積極的に、スポーツやいろいろな地域の活動に参加してもらいたい。→スポーツ振興の観点からは答弁なし【H28予算特別委員会(3.11)】 2025年問題に向けて、極力、医療、介護、社会保障費を下げていかなければならない。その観点から、健康寿命を延ばすことが重要だと考えており、高齢者健康体操教室をより一層広めていく必要性がある。 →事業を拡大するとすると、会場確保や講師の手配といった課題があるため、委託先である総合型地域スポーツクラブとも相談しながら、検討を進めていきたい。【R2決算特別委員会(10.23)】					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		7,650	12,021	13,434	13,544	13,789	14,409
A. 決算額（令和7年度は見込み）		7,542	11,816	13,210	13,544	13,789	14,409
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	2,784	3,639	4,337	4,379	4,431	4,604
	その他	1,373	2,517	2,528	3,053	2,936	3,125
一般財源		3,385	5,660	6,345	6,112	6,422	6,680
執行率（％）		98.59％	98.29％	98.33％	100％	100％	100％
B. 人コスト		7,058	7,037	6,543	6,810	4,577	
総事業費（A+B）		14,600	18,853	19,753	20,354	18,366	
予算書P（令和7年度）		122		執行実績報告書P（令和6年度）		60	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	13,544	委託料	13,789	委託料	14,409
概 要		概 要		概 要	
ちょっと楽しいスポーツ教室 1,485 高齢者健康体操教室 11,570 ボート教室 491		ちょっと楽しいスポーツ教室 1,525 高齢者健康体操教室 11,775 ボート教室 491		ちょっと楽しいスポーツ教室 1,617 高齢者健康体操教室 12,160 ボート教室 633	

事業の 成果	手段に 対する指標 （活動指標）	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		18,000	令和7年度	目標	13,000	13,500	14,000	14,500
				実績	13,965	14,643	15,378	14,110
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000
		実績	6,493	10,044	14,768	15,757	16,254	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		（指標の選定理由）継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。						
		（目標値の理由）積極的な広報を行うことによる、新たな参加者の増加を想定した。						
	目的に 対する指標 （成果指標）	指標	週に1回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		（指標の選定理由）区民スポーツ教室事業実施による数値の変化を測る必要があるため。						
		（目標値の理由）墨田区スポーツ推進計画に準ずる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・スポーツをする機会の確保、スポーツを通じた地域コミュニティの醸成・活性化策として有効であるとともに区民の健康増進・体力向上に資する施策である。今後さらなる周知を行い、スポーツ実施率向上を目指す。 ・今後は、使用備品等の消耗を踏まえ、参加料の値上げについて考える必要がある。

課題・問題点
・ちょっと楽しいスポーツ教室 新規の受講者の増加に向けた検討。学校事業等で会場が使用できない場合の代替場所の確保。 ・高齢者体操教室 高齢者の健康増進・介護予防等を目的とした事業であることから、今後も事業の効果的な運営が求められる。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	区民体育祭運営費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5488
目 的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。					
対 象 者	区内在住・在勤・在学者					
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制) 常勤2人	
事業内容	墨田区民スポーツ祭（秋季大会）は、その名のとおりにまさに体育の祭典であり、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目の入賞者には区から賞状、メダル等を、優勝者には区長杯が授与される。					
経 過	開始年度	昭和22年度			終了予定	
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。令和6年度からは名称が変更し、区民スポーツ祭となった。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,566	5,077	7,692	8,460	10,173	11,390
A. 決算額（令和7年度は見込み）		1,121	2,992	5,500	6,958	8,570	11,390
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,121	2,992	5,500	6,958	8,570	11,390
執行率（％）		43.69％	58.93％	71.5％	82.25％	84.24％	100％
B. 人コスト		6,175	6,157	5,725	5,958	6,408	
総事業費（A+B）		7,296	9,149	11,225	12,916	14,978	
予算書P（令和7年度）		123		執行実績報告書P（令和6年度）		61	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	3,278	負担金補助及び交付金	8,537	負担金補助及び交付金	11,340
使用料及び賃借料	2,616	需用費	33	需用費	50
需用費	1,064				
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		14,500	令和7年度	目標	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,638	13,186	12,904	11,656
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500
		実績	1,376	5,162	9,957	8,175	10,482	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由) スポーツへの関心、体力・技術の向上のため、参加者数の増を想定。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	週に1回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 区民スポーツ大会等事業実施による数値の変化を測る必要があるため。						
		(目標値の理由) 墨田区スポーツ推進計画に準ずる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、区スポーツ協会加盟団体により効果的な運営がされているが、参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善して参加者増を目指す。・各大会運営にスポーツボランティアを活用する等、新たな人材発掘につながるサポートを考える。

課題・問題点
・大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会とのバランスを保つ必要がある。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。 ・各競技大会において、経費増等により、大会参加費の見直しを考える必要がある。 ・一部競技団体において、団体構成員の高齢化が問題となっており、大会運営に苦労している状況である。

令和7年度 補助金評価シート

No. 7

補助金名	区民納涼民踊大会補助金		
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5488
根拠法令	スポーツ振興事業補助金交付要綱		
補助概要	区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られるよう、毎年盆踊り大会を開催している。事業運営を円滑に行うため、墨田区民踊連盟に補助金を交付し、当該事業の運営管理を主管してもらっている。		
目的	民踊の知識・技術を持った民踊連盟に補助金を交付することで、事業運営をより円滑に行うため		
対象	墨田区民踊連盟		
基準	区独自基準		
補助条件	一般区民を対象として実施し、かつ、スポーツの普及・振興を目的とする事業		
経過	開始年度	平成9年度	終了予定
	平成9年度までは北部と南部の2会場で実施 平成10年度～17年度：横網町公園で実施 平成18年度～23年度：錦糸公園で実施 平成24年度～現在：スカイツリータウンで実施		
議会質問の状況			
その他特記事項	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会を中止したため、補助金は交付していない。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	979	987	1,000	1,000
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	979	987	1,000	1,000
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	979	987	1,000	1,000
執行率（％）		－％	－％	100％	100％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,200	令和7年度	目標	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	900	500	1,000	1,200
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200
		実績	0	0	1,100	1,100	1,000	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 民踊を披露する場として、参加している区民の数を計測する必要がある。 (目標値の理由) 積極的な広報を行い、新たな参加者の増加も想定、設定した。						
		指 標	週1回以上運動・スポーツをしている、成人区民の割合				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(選定理由) 「週1回以上運動・スポーツをおこなう」区民の割合に一定の相関関係があるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率の向上には、様々な要因があり、長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ㈱と協議していく。

課題・問題点
会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場の利用については、平成24年度から同施設で実施しているが、引き続き使用できるよう調整していく。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 7

補助金名	墨田区スポーツ協会（区民スポーツ祭運営費）		
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5488
根拠法令	墨田区スポーツ協会補助金交付要綱		
補助概要	墨田区スポーツ協会に対し、区民スポーツ祭の事務経費等について補助金を交付する。		
目 的	墨田区スポーツ協会に対し、区民スポーツ祭の事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体力向上を図る。		
対 象	墨田区スポーツ協会		
基 準	区独自基準		
補助条件	1 区民スポーツ祭経費		
経 過	開始年度	昭和 2 2 年度	終了予定
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。令和6年度からは名称が変更し、区民スポーツ祭となった。		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		2,566	5,077	7,692	8,460	10,173	11,390
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		1,121	2,992	5,500	6,958	8,570	11,390
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,121	2,992	5,500	6,958	8,570	11,390
執行率（％）		43.69 %	58.93 %	71.5 %	82.25 %	84.24 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		14,500	令和7年度	目標	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,638	13,186	12,904	11,656
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500
		実績	1,376	5,162	9,957	8,175	10,482	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由) スポーツへの関心、体力・技術の向上のため、参加者の増を想定。						
		指 標	週に1回以上スポーツをしている成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 区民スポーツ祭実施による数値の変化を測る必要があるため。 (目標値の理由) 墨田区スポーツ推進計画に準ずる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区スポーツ協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。 ・各大会運営にスポーツボランティアを活用する等、新たな人材発掘につながるようなサポートを考える。

課題・問題点
・大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会とのバランスを保つ必要がある。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。 ・各競技大会において、経費増等により、大会参加費の見直しを考える必要がある。 ・一部競技団体において、団体構成員の高齢化が問題となっており、大会運営に苦勞している状況である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	区民体育大会兼都民体育大会運営費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5488
目 的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。					
対 象 者	区内在住・在勤・在学者					
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	（人員体制）常勤2人	
事業内容	墨田区民スポーツ大会（春季大会）は、都民スポーツ大会、墨東五区大会等の予選を兼ねて、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目入賞者には区から賞状を、優勝者には区長杯が授与される。					
経 過	開始年度	昭和22年度			終了予定	
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。令和6年度から、名称が区民スポーツ大会、区民スポーツ祭に変更した。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		1,754	4,324	6,248	6,539	6,760	6,790
A. 決算額（令和7年度は見込み）		442	1,543	5,566	5,704	6,236	6,790
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		442	1,543	5,566	5,704	6,236	6,790
執行率（％）		25.2％	35.68％	89.08％	87.23％	92.25％	100％
B. 人コスト		6,175	6,157	5,725	5,958	6,408	
総事業費（A+B）		6,617	7,700	11,291	11,662	12,644	
予算書P（令和7年度）		122		執行実績報告書P（令和6年度）		60	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	3,850	負担金補助及び交付金	6,236	負担金補助及び交付金	6,790
使用料及び賃借料	1,600				
需用費	254				
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		11,000	令和7年度	目標	10,500	10,500	10,500	10,500
				実績	9,887	9,378	902	8,857
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,500	10,500	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	0	2,535	8,532	7,455	8,926	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由) スポーツへの関心、体力・技術の向上のため、参加者数の増を想定。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	週に1回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 区民スポーツ大会等事業実施による数値の変化を測る必要があるため。						
		(目標値の理由) 墨田区スポーツ推進計画に準ずる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、区スポーツ協会加盟団体により効果的な運営がされているが、参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善して参加者増を目指す。・各大会運営にスポーツボランティアを活用する等、新たな人材発掘につながるサポートを考える。

課題・問題点
・大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会とのバランスを保つ必要がある。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。 ・各競技大会において、経費増等により、大会参加費の見直しを考える必要がある。 ・一部競技団体において、団体構成員の高齢化が問題となっており、大会運営に苦労している状況である。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 8

補助金名	墨田区スポーツ協会（区民スポーツ大会兼都民スポーツ大会補助金）		
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5488
根拠法令	墨田区スポーツ協会補助金交付要綱		
補助概要	墨田区スポーツ協会に対し、区民スポーツ大会の事務経費等について補助金を交付する。		
目 的	墨田区スポーツ協会に対し、区民スポーツ大会の事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体力向上を図る。		
対 象	墨田区スポーツ協会		
基 準	区独自基準		
補助条件	1 区民スポーツ大会経費 2 都民スポーツ大会等に参加する選手・役員の派遣費 3 前二号に掲げるもののほか、区長が必要と認める経費		
経 過	開始年度	昭和 2 2 年度	終了予定
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。令和6年度から、名称が区民スポーツ大会、区民スポーツ祭に変更した。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		1,754	4,324	6,248	6,539	6,760	6,790
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		442	1,543	5,566	5,704	6,236	6,790
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		442	1,543	5,566	5,704	6,236	6,790
執行率（％）		25.2 ％	35.68 ％	89.08 ％	87.23 ％	92.25 ％	100 ％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		11,000	令和 7 年度	目標	10,500	10,500	10,500	10,500
				実績	9,887	9,378	902	8,857
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,500	10,500	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	0	2,535	8,532	7,455	8,926	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由) スポーツへの関心、体力・技術の向上のため、参加者数の増を想定。						
		指 標	週に1回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和 7 年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 区民スポーツ大会等事業実施による数値の変化を測る必要があるため。						
		(目標値の理由) 墨田区スポーツ推進計画に準ずる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区スポーツ協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。 ・各大会運営にスポーツボランティアを活用する等、新たな人材発掘につながるようなサポートを考える。

課題・問題点
・大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会とのバランスを保つ必要がある。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。 ・各競技大会において、経費増等により、大会参加費の見直しを考える必要がある。 ・一部競技団体において、団体構成員の高齢化が問題となっており、大会運営に苦勞している状況である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	野球場の借上経費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5499
目 的	区民に自由に野球を楽しんでもらう。					
対 象 者	区内在住・在勤・在学者					
根拠法令 関連計画	墨田区江戸川河川敷野球場（借上）運営要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員)1人(委託先)サンケイスポーツセンターから借上	
事業内容	(一財)サンケイスポーツセンターが管理する埼玉県三郷市の江戸川河川敷野球場27・28面を借り上げ、土曜日、日曜日、祝日に貸出しを行っている。					
経 過	開始年度	平成7年度			終了予定	
	墨田清掃工場の建設に伴い縮小した東墨田野球場の代替として、平成7年度から借上げを行っている。令和元年度から借上げ面数を土曜1面、日曜3面、祝日2面に縮小し、さらに令和3年度からは土曜1面、日曜2面、祝日1面に縮小した。理由としては、日曜、祝日の稼働率が高くなかったことがあげられる。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 港区、台東区、中央区が借上げを行っている。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		13,970	10,134	10,308	10,371	10,119	10,087
A. 決算額（令和7年度は見込み）		13,970	10,134	10,308	10,371	10,119	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	600	500	500	500	500	500
一般財源		13,370	9,634	9,808	9,871	9,619	9,587
執行率（％）		100％	100％	100％	100％	100％	-％
B. 人コスト		29	0	23	140	45	
総事業費（A+B）		13,999	10,134	10,331	10,511	10,164	
予算書P（令和7年度）		124		執行実績報告書P（令和6年度）		62	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
使用料及び賃借料	10,371	使用料及び賃借料	10,119	使用料及び賃借料	10,087
概 要		概 要		概 要	
江戸川河川敷野球場の借上		江戸川河川敷野球場の借上		江戸川河川敷野球場の借上	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	貸出しコマ数				単位	コマ
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		850	令和7年度	目標	1,000	1,000	1,000	900
				実績	1,036	1,024	1,034	941
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	900	650	650	650	650	650
		実績	855	642	653	648	491	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用率を測定する指標として有効である。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	80	80	80	80
				実績	63.6	68	65.9	70
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80	80	80	80	80	80
		実績	68	66	80	75	71.3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		令和3年度から日曜・祝日の借上げ面数を削減した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	稼働率に応じた借上面数の見直しをしていく必要がある。他方、代替の施設がないため、状況を見極める必要がある。

課題・問題点
稼働状況に注視していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	スポーツ施設開放経費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5487
目 的	区民にとって身近な場所でスポーツを行える機会を提供することで、スポーツに触れ合うきっかけにしてみらうとともに、地域交流を促進する。					
対 象 者	中学生以上の区内在住・在勤・在学者					
根拠法令 関連計画	墨田区スポーツ開放校基本要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	事業内容上部に記載	
事業内容	（人員体制）常勤2人（委託先）特定非営利活動法人スポーツドアあずま、特定非営利活動法人両国倶楽部 区内の中学校6校・小学校1校・旧学校施設1箇所指導員を置き、中学生以上の区民に開放する。 ○バレーボール 錦糸中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○ニュースポーツ 墨田中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○バドミントン 竪川中学校、吾嬬立花中学校、吾嬬第二中学校、 旧向島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○バスケットボール 寺島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○ソフトテニス 寺島中学校 毎週日曜日午後1時～4時 ○硬式テニス 寺島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○卓球 曳舟小学校 毎週火曜日午後7時～9時					
経 過	開始年度	昭和43年度			終了予定	
	昭和43年度から、区民のスポーツ振興を図るため、区内の中学校体育館や、校庭、プールを開放し、区民が身近な場所でスポーツをする機会と場の提供を積極的に進めている。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	4月第2週から翌年3月まで実施					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		56	1,372	4,592	4,466	4,504	4,555
A. 決算額（令和7年度は見込み）		46	980	4,112	4,424	4,494	4,555
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		46	980	4,112	4,424	4,494	4,555
執行率（％）		82.14％	71.43％	89.55％	99.06％	99.78％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	4,577	
総事業費（A+B）		2,693	3,619	6,566	6,978	9,071	
予算書P（令和7年度）		122		執行実績報告書P（令和6年度）		60	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	4,457	委託料	4,495	委託料	4,546
				需用費	9
概 要		概 要		概 要	
				需用費：開放指導員退任記念品及び感謝状 委託料：スポーツ施設開放事業 委託料	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		6,300	令和7年度	目標	5,850	5,900	5,950	6,000
				実績	5,866	6,128	6,105	6,152
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6,050	6,100	6,150	6,200	6,250	6,300
		実績	0	552	3,858	5,181	6,362	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由) 積極的な広報を行うことによる、新たな参加者の増加を想定した。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	週に1回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 区民スポーツ教室事業実施による数値の変化を測る必要があるため。						
		(目標値の理由) 墨田区スポーツ推進計画に準ずる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	一定数の参加者がいることから、区民のスポーツ振興及び地域交流の促進を図る手段としてスポーツ施設開放は適切であると思われる。また、地域交流の場としても参加者には定評があり、参加者が友人を連れてきて新たな交流が生まれる等の波及効果もあることから、今後も改善しながら継続していく。

課題・問題点
・未経験者及び初心者が新規参入しやすい環境を作っていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 11

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				
事 業 名	墨東五区各種大会運営費				
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5489		
目 的	13種目について墨東五区選抜選手による対抗戦を開催し、五区の親睦と技術の向上を図る。 ※令和6年度より水泳が中止。				
対 象 者	区内在住・在勤・在学の選抜選手				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	（人員体制）常勤2人
事業内容	墨東五区（墨田区、江戸川区、江東区、葛飾区、足立区）で、毎年13種目のうち2～3種目を担当競技として持ち回り、各区選抜選手対抗の大会を実施する。 ※種目内訳：卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、柔道、剣道、陸上競技、弓道、駅伝競走、空手道、軟式野球、サッカー ※令和6年度より水泳は中止。				
経 過	開始年度	昭和17年度		終了予定	
	墨田区体育連盟（協会）が実施していたものを、行政が引き続き実施				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	7,135	2,600	1,770	3,138
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	7,135	1,496	940	3,138
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	7,135	1,496	940	3,138
執行率（％）		－％	－％	100％	57.54％	53.11％	100％
B. 人コスト		5,293	5,278	4,907	5,107	5,492	
総事業費（A+B）		5,293	5,278	12,042	6,603	6,432	
予算書P（令和7年度）		123		執行実績報告書P（令和6年度）		61	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	1,496	負担金補助及び交付金	940	負担金補助及び交付金	3,138
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		700	令和7年度	目標	650	650	650	650
				実績	644	678	712	661
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	650	700	700	700	700	700
		実績	0	0	367	549	749	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) 体力・技術の向上を目的に大会に出場する参加者数の増を想定。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	週1回以上スポーツをしている成人区民の割合				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 週1回以上スポーツを行う区民の割合を測る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させたため、長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・各区が連携して大会を開催することで、参加者だけではなく各競技団体間の親睦が図られるとともに、技術の向上につながっている。 ・一部の大会について、各区とも参加選手及び運営者を派遣することに苦労している団体がある。今後は、大会種目の減少が予想される。（水泳大会は令和6年度をもって中止）

課題・問題点
・実施種目の見直しや大会の効果的な運営に向け、五区が連携して進めていくことが求められる。 ・夏場に実施している屋外競技（陸上大会など）については、実施時期等を再考する必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 11

補助金名	墨田区スポーツ協会補助金（墨東五区各種大会運営費）		
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5489
根拠法令	墨田区スポーツ協会補助金交付要綱		
補助概要	墨東五区大会の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付する。		
目 的	墨田区スポーツ協会に対し、墨東五区大会の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体力向上を図る。		
対 象	墨田区スポーツ協会		
基 準	区独自基準		
補助条件	1 墨東五区各種大会経費		
経 過	開始年度	昭和 1 7 年度	終了予定
	墨田区体育連盟（協会）が実施していたものを、行政が引き続き実施		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		0	0	7,135	2,600	1,770	3,138
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		0	0	7,093	1,496	940	3,138
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	7,093	1,496	940	3,138
執行率（％）		－ ％	－ ％	99.41 ％	57.54 ％	53.11 ％	100 ％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		700	令和 7 年度	目標	650	650	650	650
				実績	644	678	712	661
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	650	700	700	700	700	700
		実績	0	0	367	549	749	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) 体力・技術の向上を目的に大会に出場する参加者数の増を想定した。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	週に1回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和 7 年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	63	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 週に1回以上運動・スポーツを行う区民の割合を測る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるため、長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・各区が連携して大会を開催することで、参加者だけではなく各競技団体間の親睦が図られるとともに、技術の向上につながっている。 ・一部の大会について、各区とも参加選手及び運営者を派遣することに苦勞している団体がある。今後は、大会種目の減少が予想される。(水泳大会は令和6年度をもって中止)

課題・問題点
・実施種目の見直しや大会の効果的な運営に向け、五区が連携して進めていくことが求められる。 ・夏場に実施している屋外競技(陸上大会など)については、実施時期等を再考する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 12

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	姉妹区親善スポーツ大会運営費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5489
目 的	墨田区・台東区姉妹区親善事業の一つとして、両区のスポーツの振興と交流を目的として行う。					
対 象 者	区内在住・在勤・在学者					
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	（人員体制）常勤2人	
事業内容	台東区と5種目の競技（アーチェリー、剣道、ソフトテニス、庭球、サッカー）を両区で分担して各種目の競技大会を相互開催している。					
経 過	開始年度	昭和53年度			終了予定	
	昭和52年4月の墨田区・台東区姉妹区提携に伴い、昭和53年より両区の親善スポーツ大会を開催している。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		137	251	90	251	90	251
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	69	62	185	86	251
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	69	62	185	86	251
執行率（％）		－％	27.49％	68.89％	73.71％	95.56％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		2,647	2,708	2,516	2,739	2,832	
予算書P（令和7年度）		123		執行実績報告書P（令和6年度）		61	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	120	負担金補助及び交付金	58	使用料及び賃借料	131
使用料及び賃借料	65	使用料及び賃借料	28	負担金補助及び交付金	120
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		750	令和7年度	目標	700	700	700	700
				実績	681	431	669	390
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	700	750	750	750	750	750
		実績	0	262	367	507	682	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由) 体力・技術の向上を目的に大会に出場する参加者数増を想定。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	週に1回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 運動・スポーツを行う、区民の割合は一定程度の相関関係があると考えられる						
		(目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、長期的な視点が必要となる						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・姉妹区としての区民交流事業であることから、費用対効果の観点では有効である。 ・新規参加者の増加や実施種目の見直しについて、共催する台東区と検討する必要がある。

課題・問題点
・参加者が一定の区民に限られ、より広い区民の参加を促す必要がある。 ・実施種目を見直してほしいとの要望もあることから、共催する台東区と検討する必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 12

補助金名	墨田区スポーツ協会補助金（姉妹区親善スポーツ大会運営費）		
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5489
根拠法令	スポーツ基本法第22条		
補助概要	墨田区スポーツ協会に対し、姉妹区親善スポーツ大会の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付する。		
目的	墨田区・台東区姉妹区親善事業の一つとして全5種目の対抗戦を開催し、両区の親睦とスポーツの振興を図る。		
対象	墨田区スポーツ協会		
基準	区独自基準		
補助条件	1 姉妹区親善スポーツ大会経費		
経過	開始年度	昭和53年度	終了予定
	昭和52年4月の墨田区・台東区姉妹区提携に伴い、昭和53年より両区の親善スポーツ大会を開催している。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		100	120	58	120	58	120
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	50	58	120	58	120
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	50	58	120	58	120
執行率（％）		－％	41.67％	100％	100％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		750	令和 7 年度	目標	700	700	700	700
				実績	681	431	669	390
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	700	750	750	750	750	750
		実績	0	262	367	507	682	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) 体力・技術の向上を目的に大会に出場する参加者数の増を想定						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	週 1 回以上スポーツをしている成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70	令和 7 年度	目標	41	42	43	44
				実績	38. 6	38. 6	40. 9	40. 9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64. 3	64. 3	63	63	66. 7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 週1回以上スポーツを行う区民の割合を測る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるため、長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・姉妹区としての区民交流事業であることから、費用対効果の観点では有効である。 ・新規参加者の増加や実施種目の見直しについて、共催する台東区と検討する必要がある。

課題・問題点
・参加者が一定の区民に限られ、より広い区民の参加を促す必要がある。 ・実施種目を見直してほしいとの要望もあることから、共催する台東区と検討する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 13

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	区営運動場維持管理費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5499
目 的	区民の健康・体力づくりを行う施設として管理運営を行う。					
対 象 者	区営運動場利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区立公園条例及び同条例施行規則・墨田区営運動場条例及び同条例施行規則・墨田五丁目運動広場開放要綱・東墨田一丁目運動広場運営要綱・都有地の一時開放による幼児・児童の遊び場並びに青少年及び老人の運動広場等の設置に関する要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制) 2人 (委託先) 株式会社施設管理サービス外	
事業内容	屋外体育施設の維持管理を行う。 野球場 11面、少年野球場 7面、テニスコート 14面、球技場 2面、少年サッカー場 2面、競技場 4面（うち 3面野球場と兼用）、運動広場 2か所、立花体育館 ※テニスコート 14面中 3面は、令和6年度から再整備を行っている。					
経 過	開始年度	昭和35年度			終了予定	
	令和元年度より錦糸公園野球場外施設管理業務委託を長期継続契約とし、令和3年度より河川敷運動場外管理業務委託を長期継続契約とした。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		221,661	196,058	186,137	231,073	256,034	334,518
A. 決算額（令和7年度は見込み）		195,814	188,168	180,942	219,895	243,841	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	43,423	49,154	66,234	56,904	61,815	0
一般財源		152,391	139,014	114,708	162,991	182,026	334,518
執行率（％）		88.34％	95.98％	97.21％	95.16％	95.24％	-％
B. 人コスト		19,437	19,351	18,017	18,866	20,184	
総事業費（A+B）		215,251	207,519	198,959	238,761	264,025	
予算書P（令和7年度）		P124 1		執行実績報告書P（令和6年度）		62	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	142,437	委託料	141,346	委託料	168,360
工事請負費	34,534	工事請負費	59,739	工事請負費	119,504
役務費	14,007	役務費	17,591	役務費	18,041
需用費	13,098	需用費	13,432	需用費	15,415
使用料及び賃借料	9,154	使用料及び賃借料	7,860	使用料及び賃借料	7,861
概 要		概 要		概 要	
維持補修費、等		維持補修費、等		維持補修費、等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用コマ数（屋外体育施設＋立花体育館）				単位	コマ
		最終目標値	目標年度	基準年（H28）	H29	H30	H31	
		57,000	令和７年度	目標	—	—	—	—
				実績	52,884	60,198	57,012	56,219
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	55,000	55,000	56,000	57,000
		実績	50,359	54,019	55,002	53,031	49,554	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		スポーツ活動及び健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	稼働率				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年（H28）	H29	H30	H31	
		49,000	令和７年度	目標	55	55	57	57
				実績	—	—	—	58.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	59	59	61	61	63	63
		実績	59.9	60.6	59.3	50.7	54.6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		スポーツ活動及び健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。 一方で、部分的な補修に限界があり、大規模改修が必要な施設もある。

課題・問題点
施設の経年劣化が見られるため、計画的な補修が必要となってくる。特に錦糸公園野球場については、部分的な補修は行っているものの、人工芝の耐用年数を超過していることから劣化が進んでおり、大規模な張替えが必要である。また照明についても、既存製品の生産が終了しており、交換品は在庫限りであるため、照明交換工事（ＬＥＤ化）が必要である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 14

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる		
事 業 名	オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業費		
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5487
目 的	東京2020大会で創出した様々な取組みを、大会終了後もレガシーとして引き継いでいく。		
対 象 者	区内在住・在勤・在学者		
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条		
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 事業内容の上部に記載
事業内容	（人員体制）常勤3人（委託先）総合型地域スポーツクラブ外 1 ボクシング普及啓発事業の実施 （1）すみだボクシング祭り （2）全日本ボクシング選手権大会での墨田区長賞の授与 （3）区内学校等への出前授業 2 障害者スポーツ普及啓発事業の実施 （1）パラ競技の普及啓発 （2）障害者スポーツ推進事業 （3）区内学校等への出前授業 3 スポーツ人材の育成（すみだスポーツボランティアの運営）		
経 過	開始年度	令和4年度	終了予定
	1 ボクシング普及啓発事業の実施 本区で実施されたオリンピック競技であるボクシングの普及啓発と区民の健康増進等を目的として、アマチュアボクシング連盟やプロボクシング協会等と連携したイベント等を実施している。 2 障害者スポーツ普及啓発事業の実施 障害の有無にかかわらず障害者スポーツを通じて、共生社会の実現への理解と共感を深めてもらうことを目的とする。また、障害者にスポーツの楽しさを知ってもらい、スポーツを始めるきっかけを提供している。 3 スポーツ人材の育成（すみだスポーツボランティアの運営） 東京2020大会に向けて高まったボランティア機運を絶やさず更に発展させるために、令和4年度に設立した「すみだスポーツボランティア」を運営している。		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	3,250	5,891	7,378	7,345
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	2,102	5,265	6,377	7,345
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	999	2,022	5,843	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	1,103	3,243	534	7,345
執行率（％）		－％	－％	64.68％	89.37％	86.43％	100％
B. 人コスト		0	0	4,090	5,107	10,985	
総事業費（A+B）		0	0	6,192	10,372	17,362	
予算書P（令和7年度）		123		執行実績報告書P（令和6年度）		61	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	2,800	負担金補助及び交付金	3,800	負担金補助及び交付金	3,800
需用費	1,042	委託料	1,692	委託料	2,040
委託料	891	需用費	392	報償費	784
役務費	483	報償費	342	需用費	499
使用料及び賃借料	90	使用料及び賃借料	90	使用料及び賃借料	122
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	墨田区スポーツボランティア登録者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		120	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	90	100	110	120
		実績	—	—	95	145	182	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) スポーツを支える主体であるボランティアの数を計測する必要があるため (目標値の理由) 積極的な広報を行い、新たな参加者の増加も想定した。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	すみだスポーツレガシー実行委員会事業の来場者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		13, 000	令和 1 2 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	13, 000	13, 000	13, 000	13, 000
		実績	—	—	11, 300	11, 300	11, 700	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 健康増進、地域力向上等につながることを期待しているため。 (目標値の理由) 平均来場者数を向上させるための長期的な視点による。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で創出した様々な財産をレガシーとして継承し、スポーツを「する・みる・ささえる」など、自分の興味・関心に合った観点でスポーツに関わり、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや地域での交流につなげる必要がある。

課題・問題点
・レガシー実行委員会事業は、年々規模が拡大しており、事業経費や人員の確保が課題となっている。 ・パラ競技の普及だけでなく、障害者が日常的に運動・スポーツに取り組める環境を整える必要がある。そのために、福祉部門及び関係団体をはじめ、様々な部門とも幅広く連携し、障害者スポーツの現状・課題・ニーズを把握した上で事業の企画・検討を行う必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 14

補助金名	すみだスポーツレガシー実行委員会補助金		
主管課	スポーツ振興課	電話番号（内線）	5487
根拠法令	すみだスポーツレガシー実行委員会補助金交付要綱		
補助概要	すみだスポーツレガシー実行委員会が行う事業に要する経費の全部又は一部を予算の範囲内において補助金として交付する。		
目 的	区、関係団体、地域住民等が一体となって東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における墨田区のレガシーを継承・発展させる取組を推進し、区民の健康増進、ボクシング競技及び障害者スポーツの普及啓発並びにボランティアマインドの醸成、ひいては地域力向上を図ることを目的とする。		
対 象	すみだスポーツレガシー実行委員会		
基 準	区独自基準		
補助条件	(1) ボクシング普及啓発事業 (2) 障害者スポーツ普及啓発事業 (3) スポーツレガシー関連事業 (4) そのほか、区長が必要と認める事業		
経 過	開始年度	令和5年度	終了予定
	区、関係団体、地域住民等が一体となって東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における墨田区のレガシーを継承・発展させる取組を推進し、区民の健康増進、ボクシング競技及び障害者スポーツの普及啓発並びにボランティアマインドの醸成、ひいては地域力向上を図ることを目的として、令和5年2月にすみだスポーツレガシー実行委員会が発足した。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	2,800	3,800	3,800
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	2,800	3,800	3,800
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	1,400	1,900	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	1,400	1,900	3,800
執行率（％）		－％	－％	－％	100％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	すみだボクシング祭りにおける来場者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3,000	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	3,000	3,000	3,000
		実績	—	—	—	2,500	5,000	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各種レガシー事業を実施することにより、区民の健康増進、ボクシング競技や障害者スポーツの普及啓発、ボランティアマインドの醸成、ひいては地域力向上につながることを期待しているため。						
		指 標	すみだスポーツパークにおける延べ体験者数				単 位	人
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5,000	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	5,000	5,000	5,000
		実績	—	—	—	6,300	6,400	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各種レガシー事業を実施することにより、区民の健康増進、ボクシング競技や障害者スポーツの普及啓発、ボランティアマインドの醸成、ひいては地域力向上につながることを期待しているため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で創出した様々な財産をレガシーとして継承し、スポーツを「する・みる・ささえる」など、自分の興味・関心に合った観点でスポーツに関わり、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや地域での交流につなげる必要がある。

課題・問題点
1 ボクシング普及啓発事業 実施イベント（すみだボクシング祭り、すみだスポーツパーク）は、年々事業規模が拡大しており、会場費の増大や事業充実等の観点から、従事する人員、予算の確保が課題となっている。 2 障害者スポーツ普及啓発事業 パラ競技の普及だけでなく、障害者が日常的に運動・スポーツに取り組める環境を整える。そのために、福祉部門及び関係団体と連携し、障害者スポーツの現状・課題・ニーズを把握した上で事業の企画・検討を行う必要がある。 3 スポーツ人材の育成（すみだスポーツボランティアの運営） 様々なスポーツ事業に携われるよう活動の場を広げていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 15

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号(内線)	5488
目 的	当該事業を通じ障害者の健康の保持・増進を図るほか、障害がある方も気軽にスポーツをすることができるようにする。また、地域の交流の場として、障害者施設間をはじめとする各団体の相互理解、親睦を深めること、一般区民への啓蒙・周知を図る。					
対 象 者	区内障害者施設の利用者					
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	人員:常勤2人 委託先:特定非営利活動法人のぞみ外	
事業内容	例年、10月第3日曜日に墨田区総合体育館において、各障害者団体、福祉作業所等の利用者及びその家族が参加する運動会型レクリエーション大会を行っている。 内容については、各団体から実行委員を選出し、実行委員会において決定し、買い物競走・玉入れなどの種目を実施している。運営は、スポーツ推進委員、その他の協力団体により行っている。					
経 過	開始年度	昭和56年度			終了予定	
	昭和56年の国際障害者年を契機として開催され、以後継続している。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・例年、7月上旬から中旬に実行委員会設置、10月第3日曜日に実施。 ・令和2・3・4・5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額(令和7年度は当初予算)		0	0	0	0	2,661	3,915
A. 決算額(令和7年度は見込み)		0	0	0	0	1,565	3,915
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	1,565	3,915
執行率(%)		- %	- %	- %	- %	58.81 %	100 %
B. 人コスト		0	0	0	0	4,577	
総事業費(A+B)		0	0	0	0	6,142	
予算書P(令和7年度)		123		執行実績報告書P(令和6年度)		61	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		委託料	937	委託料	2,396
		需用費	250	需用費	828
		使用料及び賃借料	244	報償費	368
		報償費	120	使用料及び賃借料	273
		役務費	15	役務費	50
概 要		概 要		概 要	
		日時：１０月第三日曜日 場所：ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館） 対象：区内障害者（児）とその家族 参加人数：３２８人		日時：１０月第三日曜日 場所：ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館） 対象：区内障害者（児）とその家族 参加人数：約５００人	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		975	令和７年度	目標	750	775	800	825
				実績	770	743	726	693
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	850	875	900	925	950	975
		実績	—	—	—	—	328	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 大会に参加する障害のある方の数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由) 積極的な広報を行うことによる、参加者数の増を想定した。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	週に１回以上運動・スポーツをしている成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		70	令和７年度	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63	63	66.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 一定程度相関関係があると考えられるため。						
		(目標値の理由) 長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	・障害者施設の利用者が一堂に集まる事業であることから地域交流の場として重要である。 ・障害のある方にもマイスポーツ発見につながる事業を目指す。

課題・問題点
・大会実施工程や種目を工夫・改善し、より多くの区内障害者施設の利用者が参加できるようにする必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 16

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる					
事 業 名	ホームタウン・スポーツチームの育成経費					
主管課	スポーツ振興課				電話番号（内線）	5489
目 的	墨田区をホームタウンとするスポーツチームを育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、トップアスリートとの交流を通じて、子どもたちの体力向上を図る。					
対 象 者	墨田区ホームタウン・スポーツチーム（フウガドールすみだ）、 小学校児童を中心とした区民					
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制) 常勤2人 (委託先) フウガドールすみだ他	
事業内容	1 トップチームやアスリート等との交流 スポーツイベント、クリニック、ファン交流会の開催等 2 地域コミュニティ活動の形成 PFI事業者が主体となり、体育協会、サポーターズ、町会、地元商店街、総合型地域スポーツクラブ等と連携して事業展開していく。					
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定	
	平成22年度に総合体育館が開館し、総合体育館をホームタウンとするスポーツチームを誘致・育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、総合体育館の3つの機能「する」「みる」「支える」を実現するための方策として推進している。 ・平成23年12月 フウガドールすみだと「墨田区ホームタウンチームの活動に係る連携に関する協定」を締結					
議会質問 の 状 況	【R2第4回定例会（12.3）】 ①コロナ禍で大変な状況にある中で、墨田区としてできる限りの支援をしてあげてほしい。 →例年実施している応援イベント等は、コロナの影響で実施できていないが、まだ中止を決定したわけではないので、連携を取りながら可能な範囲で実施していきたい。 ②区庁舎に展示しているユニフォーム等をもっと人目のつくところに展示してはどうか。 →チームの意向を確認し、その上で場所の変更を検討する必要があるとなった場合には、総務課と相談しながら考えていきたい。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		875	600	390	425	540	1,182
A. 決算額（令和7年度は見込み）		510	330	370	345	507	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		510	330	370	345	507	1,182
執行率（％）		58.29％	55％	94.87％	81.18％	93.89％	－％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		4,039	3,848	3,642	3,750	4,169	
予算書P（令和7年度）		123		執行実績報告書P（令和6年度）		61	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	210	委託料	460	委託料	1,040
需用費	135	需用費	48	需用費	142
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	学校訪問教室				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和７年度	目標	10	10	10	10
				実績	5	5	2	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11	11	11	12	12	12
		実績	3	4	6	3	6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 区立学校における訪問事業数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由) 積極的な広報を行うことによる、事業数の増を想定した。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	フウガドールすみだのホームゲーム平均観客数				単位	
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		800	令和１２年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	800	800
		実績	—	—	644	720	916	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 平均観客数を計測し、区民のスポーツへの関心向上を図る。						
		(目標値の理由) 平均観客数の向上には、長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	・トップアスリートと交流できる学校訪問教室は、参加者からの評価が高く、地域活性化のために区が実施する必要性は高い。 ・障害の有無に関わらずホームゲームを観戦できる体制を考える等、より多くの方にファンとなってもらえるような事業展開を考える必要がある。

課題・問題点
・ホームタウンスポーツチームの認知度向上及びホームゲーム観客数増に向けた取組が求められる。また、障害の有無に関わらずホームゲームを観戦できる取組や、ホームゲーム運営にスポーツボランティアを活用する等、スポーツを「みる」「ささえる」観点での関わり方を拡充していく必要がある。 ・新たなホームタウンスポーツチームの承認を検討していく。